

宮崎県教育情報通信ネットワークシステム構築及び運用業務

～新教育ネットひむか～

仕様書

令和3年8月12日

宮崎県教育研修センター

1 概要

(1) 調達目的

本仕様書は、宮崎県教育情報通信ネットワーク（以下、教育ネットひむか）機器及びソフトウェア等構築及び運用業務更新のため、必要な事項を記載している。なお、仕様条件を満たし、かつセンターの役割として有益な提案を望む

(2) 調達方法

企画提案競技とし、本仕様にある前提条件と要望に対する提案書（新規提案を含む）、プレゼンテーション、価格により充足度合いを総合的に評価を行う。

(3) 調達範囲

機器、ソフトウェア、現状調査と分析、設計、構築、5年間の運用、その他構築に必要な付属品とする。

(4) 運用保守業務の期間

令和4年1月1日から令和8年12月31日とする。

(5) 更新概要

教育ネットひむかに関係する、サーバー（VODサーバーとSNSサーバーを除く）、各種スイッチ、ネットワーク機器等を更新する。サーバーはクラウドサービス(以下、クラウド)と宮崎県サーバ統合基盤(以下、統合基盤)にその用途に応じて適切な構成で更新および移行する。

本県の統合基盤の仕様等は、「宮崎県次期サーバー統合基盤提供業務サービス利用者向けサービス仕様書」を参照し、「2. 3システム担当課とサーバー統合基盤の役割分担」のシステム担当課の役割について受託事業者で実施すること。

(6) 業務履行場所

原則として受託事業者拠点からの遠隔操作にて作業を行う。ただし、本県が必要とする場合には、本県が調整し確保する。

(7) 設置場所

クラウドと宮崎中央インターネットデータセンター(以下、宮崎中央iDC)の統合基盤とし、安定性や不正侵入等に対する安全性を高め、5年間の運用を見据えて構築を行う。

ただし、Web開発及び管理端末7台、セキュリティーサービスの一部は、教育研修センターに設置する。

(8) 基礎データ

①利用機関範囲

現教育ネットひむかは、宮崎中央iDC及び一部宮崎県教育研修センターに設備を設置し、下記機関が利用している。利用機関の範囲は、次のとおりである。

- ・ 県立の学校及び学校以外の教育機関
- ・ 県内の市町村立の学校及び学校以外の教育機関
- ・ 県教育委員会事務局及び市町村教育委員会事務局
- ・ 前各号に定めるもののほか、県教育委員会が適当と認める機関

②システムの利用者

- ・ インターネット利用者数：約120,000人（最大約14万人）
- ・ 高校入試の一般選抜合格発表時：最大瞬間アクセス20,000人
- ・ 発行メールアドレス数（個人用＋機関用）：約9,200（最大14,000アカウント発行予定）
- ・ Webページ利用機関数：約450機関

- ・インターネット接続パソコン台数：約 70,000 台（令和 3 年 3 月時点）
（職員用パソコン：約9,200台 児童・生徒用パソコン：約60,000台）

2 業務内容

(1) 設計業務

設計にあたっては、文部科学省策定の「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」および本県の「宮崎県立学校情報セキュリティポリシー」を参考とすること。

- ① ネットワーク設計
 - ・「II ネットワーク要件」を満たすネットワーク設計
- ② システム設計
 - ・「III サービス要件」を満たすシステム設計
- ③ 保守・運用設計
 - ・新教育ネットひむかを運用するにあたっての実施手順の設計
 - ・バックアップ、リストアに関する運用設計

(2) 施工業務

- ① ネットワーク構築
 - ・新教育ネットひむかに関するネットワーク構築
- ② サーバー構築
- ③ システム構築
- ④ ホームページのデザイン等の修正
 - ・教育研修センターが公開している Web ページの一部デザイン等の修正
- ⑤ 施工管理
 - ・実施工程表、施工計画書の作成
 - ・進捗報告
- ⑥ 総合運用試験
 - ・構築した環境での総合的な運用試験

(3) データ移行業務

- ① Web コンテンツ移行
- ② メールアカウント移行
- ③ システム環境移行

(4) 保守業務

- ① ハードウェア保守
 - ・ハードウェアを維持するために必要な保守業務
- ② システム保守
 - ・システムを稼働するために必要な保守業務
- ③ 運用業務
 - ・新教育ネットひむかを正常に運用するために必要な業務
- ④ サポート（ヘルプデスク）業務
 - ・利用者からの問い合わせに対応する業務
 - ・利用者に対して、Windowsのサポート終了に関する情報などを提供する業務
- ⑤ 情報化コーディネータ業務

- ・利用者等からの依頼により、学校等を訪問して調査や支援する業務

3 移行方針

資料1「移行方針表」を参照すること。

II ネットワーク要件

1 ネットワーク要件

(1) 設置場所

宮崎中央iDCの統合基盤を主とし、一部教育研修センターとする。

(2) 使用回線

宮崎中央iDCからインターネットへの上位回線については、既存のQTnetの「コンピューター通信網サービス」（150Mbps）及びBBIQ(1G)×3本のマルチホーム構成を使用する。ただし、3回線の回線増設を想定して調達構成すること。その他、宮崎中央iDCから教育研修センター設置の保守用パソコンとの接続回線を利用すること。

以上のことについては、資料2「新教育ネットひむかネットワークイメージ図」を参照すること。

(3) アドレス体系

IPv4およびIPv6での運用が可能であること。

(4) ネットワーク機器の構成と配置

「III サービス要件」及び資料3「新教育ネットひむかシステム構成イメージ図」、資料4「現教育ネットひむかネットワーク構成図」を参照のうえ最適な機器の構成・配置し、統合基盤等へのLANケーブルの敷設を行うこと。

(5) 論理構成

ネットワークアドレス体系は、原則として現行アドレス体系を踏襲するものとする。ただし、訪問者による、所内リソースへのアクセスを容易にできない仕組みとすることとし、利用できる機能としては、指定された場所からのインターネットアクセスのみとすることとその際の利用ログを取得可能なこと。

(6) その他

将来インターネットへの上位回線が改善されることを想定して、機器を調達し構成すること。

上記以外に5年間の運用で必要と思われる事項があれば、提案内容に盛り込むこと。

III サービス要件

共通事項

各サービスの構築において、クラウドと統合基盤を適宜使用できるようにサービス面及びコスト面も含めて提案すること。

1 DNSサービス（内部・クラウドいずれも可）

DNSサービスとは教育ネットひむか内外のIPアドレス及びドメイン名を管理するサービスである。

(1) 機能要件

- ・プライマリー及びセカンダリーの2台構成になっていること。
- ・今後使用する可能性のあるバーチャルドメインに対応すること。
- ・サイト内からの逆引きが可能であること。
- ・教育研修センターで利用しているドメインの名前解決が可能であること。

(2) 移行要件

- ・現在利用しているドメインのゾーン情報を移行すること。
miyazaki-c.ed.jp

(3) 運用/保守要件

- ・期間内のDNSの障害発生時の対応、維持保守を行うこと。（サーバ統合基盤のサービスを利用してもよい）

2 メールサービス

(1) 機能要件

- ・14,000名のアカウントが利用可能であること。
- ・利用者側でアカウントやパスワード、ニックネーム(エイリアス名等)を確認し、パスワードやニックネームを変更することができる機能があること。
- ・メール保存期間(別途設定)を過ぎると自動的に削除される機能があること。
- ・利用者が、携帯電話、スマートフォン、携帯端末等のWeb機能を利用して、メールの送受信が利用できること。
- ・送信できる添付ファイルのサイズ制限が、管理者側で設定できること。
- ・利用者が、パソコンWeb機能を利用(Webメール)して、メールの送受信が利用できる現在稼働中のWebメール以上の機能を有すること。

なお、現在のWebメールの主な機能については次の通り。

- ・ユーザ認証(ログイン)機能
- ・メール表示機能(一覧、本文、添付、アドレス帳)
- ・メール作成・返信・転送・削除機能
- ・アドレス帳管理機能(登録、更新、削除、インポート、エクスポート)
- ・利用者情報管理機能(名前・パスワード変更、署名編集)
- ・フォルダ設定機能(フォルダ追加、変更、削除)
- ・メール振り分け機能(ルール追加、変更、削除)
- ・メールアドレスのグループ機能
- ・Webメールでは、inline形式についても添付ファイルを受信できること。
- ・1アカウント当たりの容量は、300MBであること。
- ・添付ファイルの最大送受信容量/通は20MBであること。
- ・Webメールでは、現在の誤送信の防止機能と5分以内の誤送信メール回収機能と同等の機能提案を行うこと。
- ・SPAMメール対策機能を有し、SPAM判定メールの個人管理機能もあること。
- ・Webメールでも、SPAMメール自動振り分け機能があること。

(2) 移行要件

- ・現在利用中の申請及び発行に係る情報メールアカウント/パスワード/ニックネーム(エイリアス名等)をすべて移行すること
- ・現在利用中のメーリングリストとそのメンバーをすべて移行すること。
- ・上記機能要件になるように、現行のメールサービスに機能を追加すること。

(3) 運用/保守要件

- ・定期的なバックアップを行うこと。（サーバ統合基盤のサービスを利用してもよい）
- ・過去3か月以上の送受信ログを残すこと。

3 研修センター系Webサービス

研修センター系Webサービスとは、教育ネットひむか及び教育研修センターのWebページで各種教育情報提供を行っているサービスである。

(1) 機能要件

- ・教育研修センターのコンテンツをインターネット経由で公開すること。
- ・運用開始後の更新が、教育研修センター職員で容易に可能であること。

(2) 移行要件

- ・移行においてURLの変更は行わないこと。
- ・教育ネットひむか及び教育研修センターのページについては、デザイン等を修正するとともに、CMSを利用し関係部署から容易に投稿と管理ができるよう移行し、操作指導を行うこと。
- ・Flashにより表示ができないページについて、代替表示作業を行うこと。
- ・現在の各WebページやDB（精査・協議の上、残すもの）を全て移行し、またそれに付随する機能を引き継ぐことができること。

(3) 運用/保守要件

- ・定期的なバックアップを行うこと。（サーバ統合基盤のサービスを利用してもよい）
- ・過去1年以上のアクセスログを残すこと。

4 学校系Webサービス

学校系Webサービスとは、学校や教育機関の情報発信のためのWebページ及びCMSページを提供するためのサービスである。

(1) 機能要件

- ・現在公開されている公立学校、県立学校、教育関係機関のページを移行し公開すること。
- ・1機関あたりのWebページ領域として、3GB以上の領域が使用できること。
- ・700機関以上のWebページが利用可能であること。
- ・1機関あたりのWebページの使用領域を制限することができる機能があること。
- ・各機関のページ使用容量が把握できること。
- ・あらかじめ登録された各教育機関からの、FTPによるページアップロードが可能であること。
- ・Webページに関して、CGIの動作制限がかけられること。
- ・CMS（NetCommons）に関しては、現在稼働中のサービスが正常に稼働すること。
- ・1機関あたりのCMSによるページ領域として、3GB以上の領域が使用できること。
- ・700機関以上のCMSページの利用が可能であること。
- ・各機関のCMSページの使用容量が把握できること。また、1機関あたりのそれぞれのページの使用領域を制限することができる機能があることが望ましい。

(2) 移行要件

- ・現在のWebページについては、全てのコンテンツをすべて移行すること。
- ・現在稼働中のCMSサービスのプログラム及びデータをすべて移行すること。
- ・各ページのURL、アカウント、パスワードの変更は行わないこと。
- ・CMSサービスは、SSL対応とすること。

(3) 運用/保守要件

- ・定期的なバックアップを行うこと。
- ・ログを集計し、ログは、教育研修センター職員での二次利用が可能であること。
また、ログは2か月以上保存すること。
- ・本システムのCMSについては、NetCommnsの最新版とすること。
- ・CMSサービスのNetCommons のアップデートやバージョンアップに対応すること。
- ・本システムで使用するNetCommons のアップデート、拡張モジュールの追加、バージョンアップを実施する際は、事前に十分な検証を行った後、教育研修センターの承認を得た上で本番環境に適用すること。
- ・CMSによるページについては、現在準備しているアカウントが不足したら、即時追加すること。

5 ファイル転送サービス

ファイル転送サービスとは、メールで送信しにくい容量の大きなファイルをWeb サイトにアップロードし、受信者にそのリンク先を通知するサービスである。

(1) 機能要件

- ・教育ネットひむかのネットワーク利用者間及び外部からの送信において、ファイルを相手のファイルBOXにアップロードして、相手にメールで通知するシステムであること。
- ・ファイル転送サービス及びファイルBOXへの接続には、教育ネットひむかが発行するメールアカウント（ニックネームでも可）とメールパスワードが必要であること。
- ・外部からの送信を依頼する場合は、ファイル転送サービス内から一時的なIDとパスワードを外部利用者にメールで発行し、外部利用者がファイル転送サービスからアップロードできること。
- ・一度にアップロードできるファイル数は、5ファイルまでであり、その合計ファイルサイズは、最大500MBまでとする。
- ・アップロードされたファイルは48時間後に自動的に削除させること。
- ・送信者は、アップロードしたファイルを削除可能であり、送受信履歴も確認できること。
- ・システム管理者（教育研修センター）の許可で、外部への送信が可能なこと。
- ・同時接続数は、20アカウントまでとする。
- ・ウイルスチェック機能を有すること。

(2) 設置要件

- ・新規導入
- ・現在稼働中のサービスに影響がないこと。
- ・SSL対応であること。

(3) 運用/保守要件

- ・全ての利用ログを残すこと。

6 セキュリティーサービス（UTM）

(1) 機能要件

- ・不正侵入検知・ウイルス対策ゲートウェイ機能・フィルタリング機能を有すること。
- ・UTMのホワイトリスト（またはブラックリスト）等のデータを、学校関係機関からの求めにより、提供すること。
- ・ネットワークからの接続及び閲覧やSPAMメールなどの通信の負荷を分散させ、快適なインターネット

ト接続環境を提供すること。

- ・不正な接続や攻撃に対する防御やアンチウイルス対策を行い、安全なインターネット接続環境を提供すること。
- ・ファイアウォール機能を有すること。
- ・標的型攻撃にも対応できる機能を有すること。
- ・サーバープロテクト機能を有すること。
- ・文部科学省作成「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン（令和3年5月版）を踏まえセキュリティについて提案すること。

(2) 移行要件

- ・新ひむかサーバーの設置場所（宮崎中央iDC）及び教育研修センターに設置し、運用すること。

(3) 運用/保守要件

- ・教育研修センター職員からの指示によりセキュリティポリシーの追加・変更・削除が行えること。

7 運用管理サービス

運用管理サービスとは教育ネットひむかにおけるメール・Web及びCMS等のサブシステムのアカウントやアドレス等の管理をつかさどるサービスである。

(1) 機能要件

- ・開発・運用している独自システムを、調査・分析の上で新規構築を行うこと。
- ・既存システムと同等以上の機能を有すること。

運用管理サービスの主な機能については次の通りである。

- ・ユーザ認証(ログイン)機能
- ・運用番号管理機能(決裁番号の検索、登録、変更、削除)
- ・職員情報管理機能(職員情報・メール情報の登録、変更、削除、通知書印刷)
- ・学校情報管理機能(学校情報・メール・FTP情報の登録、変更、削除、通知書印刷)
- ・メーリングリスト管理(検索、登録、変更、削除、メンバー一覧表示)
- ・アカウント情報、学校情報、利用状況を一元的に管理（登録・修正・削除・検索）が、教育研修センター職員でできること。
- ・アカウントをロックする設定及び解除が、教育研修センター職員でできること。
- ・教育研修センター職員が、サーバーの負荷状態、ネットワークのトラフィック状況等を、リアルタイムに確認できる機能を有すること。
- ・メール利用を承認されているひむか利用者が、Webを経由してメールのパスワードの変更、ニックネームの新規登録、変更ができること。
- ・利用者がWebページ等を使用する場合のログインを各種サービスのIDとパスワードの統一化案を提案すること。

(2) 移行要件

- ・各種アカウント情報等など、利用者が既存システムで使用していたものを移行し、引き続き既存システム同様以上に容易に操作ができること。

(3) 運用/保守要件

- ・定期的なバックアップを行うこと。（統合基盤のサービスを利用してもよい）
- ・日常的なサーバー等のシステム監視が可能なこと。

7・その他

(1) 上記の要件以外に予算枠内で提案可能なサービスの提供を行うこと。

※例：入試結果の公開時のアクセス増加に臨時的に対応できる仕組みなど

IV 調達物品に備えるべき要件

1 調達物品全般

・前記「III サービス要件」および資料2「新教育ネットひむかネットワークイメージ図」、資料3「新教育ネットひむかシステム構成イメージ図」、資料4「現教育ネットひむかネットワーク構成図」を参照し、統合基盤により提供される物品（ハード、ソフト、ライセンス）以外に必要な物品（ハード、ソフト、ライセンス）をすべて調達し構成すること。

2 サーバー、ストレージ関係

・5年後においても前記「III サービス要件」を十分に満たす性能、機能を有すること。
・サーバー及びストレージは、統合基盤により提供されるが、その構成等においては、今後のサービス追加や冗長性・拡張性を踏まえる提案が望ましい。
・統合基盤に必要なリソース（CPUコア数、メモリサイズ、サーバディスク容量）について提案すること。なお、現行システムのリソース総数から増加する場合は、情報政策課と調整する必要があることに留意すること。

【現行システムのリソース】

・CPU	71vCPU
・メモリ	115GB
・ディスク	13.3TB

・統合基盤が実施する使用率調査の結果で過剰と判断された場合は、リソースの見直しに協力すること。
・今後の運用保守を考慮して、保守とサポート体制を確実に提供できること。

3 ネットワーク関係

・5年後においても前記「II ネットワーク要件」、「III サービス要件」を十分に満たす性能、機能を有した構成であること。
・ネットワーク機器については、今後のネットワーク拡張性（高速化とセキュリティ向上）に備え、ギガビットイーサネットの冗長構成にすること。
・必要に応じて、回線が増速した場合でも十分に耐えうるネットワーク機器を選定すること。
・UTM装置は、教育研修センター利用環境を考慮した十分な性能であること。

4 保守用パソコン

(1) センター側Web開発及び管理端末用7台

・管理用として、各ページの更新等が行えると共に、運用管理サービスが行えること。
・スペック等については、資料5「保守用パソコン使用要件」を満たしていること。

5 ライセンスの更新が必要な既存ソフトウェア

・TRSL Trend Micro ウイルスバスターCorp. Client 更新アカデミックの130 クライアントライセンス5年間
・サイボーズOffice10 SW 保守ライセンス（100 ユーザー版）5年間
・ホームページビルダーJ-License(10クライアント) 5年間

1 保守・運用要件

- ・保守作業を行う際は、受託事業者が作成し教育研修センターが承認した業務内容及び保守マニュアル、セキュリティ基準に従って実施すること。実施した作業は記録書に残し、一定期間保管すること。
 - ・本仕様書に何らかの疑義が生じた場合や、本仕様書に記載のない事項は、教育研修センターと受託事業者が別途協議の上、決定するものとする。
 - ・教育研修センターから、システムの利用に関する技術や運用等についての質問に対して、迅速に対応すること。
 - ・サーバーOSへのセキュリティパッチ適用等の予防保守を実施すること。
 - ・ウイルス対策を施し、自動的にパターンファイルを更新するなどのメンテナンスを行うこと。
 - ・専用サポート窓口（ヘルプデスク）を開設し、利用者からの電話やメールによる問い合わせに回答すること。その問い合わせ内容と対応については、定例会にて報告すること。
 - ・情報化コーディネータ業務として、利用者からの依頼に応じて学校を訪問し、調査や支援を行うこと。
 - ・運用課題や問題点等に対する改善策の提案（コンサルティング）をすること。
 - ・死活監視、プロセス監視の仕組みを導入し、障害を検知できること。（統合基盤のサービスを利用してもよい）
 - ・導入、構築、保守を請け負った範囲に関して、障害が発生した場合には、オンサイトによる迅速な復旧対応を実施すること。
 - ・障害発生時は、受託業者の責任として回線業者、保守業者、メーカーなど、しかるべき保守先にエスカレーションし、教育研修センター職員への負担を掛けずに最後まで対応すること。
- なお、障害対応結果は毎月の定例会で報告書として提出すること。
- ・対応時間は土曜、祝祭日、年末年始等の閉庁日を除く8時30分～17時00分であり、この間に発生した障害は、当日対応を基本とする。時間外の障害発生については、基本的に翌営業日8時30分から復旧作業に着手すること。
 - ・トラブル対策及び教育研修センターへの報告に必要なログは、全て残すこと。
 - ・宮崎にサポートの拠点を置き、緊急な障害対応に即時対応可能であること（概ね1時間以内に障害の発生箇所に訪問可能であること）

(1) 運用代行の役務

- ・長期未使用のユーザーアカウントのリスト化と、定例会での報告
- ・メーリングリストの作成・修正・削除
- ・メーリングリストメンバーの登録・修正・削除
- ・導入した機器の管理
- ・バックアップ作業
- ・導入機器等に関する構成管理帳票の更新業務
- ・システム障害発生時の調査・復旧と、教育研修センターへの通報および報告書の作成・提出

(2) 報告業務

サーバー及びネットワークの利用状況を、教育研修センター職員が把握できるように報告を帳票（承認決済用）で提出すること。報告業務の種類等は下に示すが、内容については業者が決定後、教育研修センターと協議すること。

区 分	報告の方法	報 告 期 限
毎 週	週次業務報告	翌週の最初の勤務日
毎 月	月次業務報告	業務完了日の翌日から10日以内
年度末	年次業務報告	業務完了日の翌日から10日以内
随 時	臨時業務報告	必要があるとき即日

(3) 定例会

導入後は利便性の向上、障害の事前検知、課題や問題の改善を継続する必要がある。また新規サービスを追加、提供していくために様々な角度からの提案を継続して役務提供できること。

① 月1回以上の実施項目

- ・各種報告書の提出と説明

② 3か月に1回以上の実施項目

- ・事前検知しているシステムの問題点や課題の報告と、その解決策の提言
- ・新しい技術や製品の紹介と、導入メリットの説明および費用対効果の提示
- ・CMS（NetCommons）のバージョンアップ提案

(4) ヘルプデスク業務の提供

ヘルプデスク業務における必要な事項を以下に定め、契約の適正な履行の確保を図ること。

① 業務の実施時間

- ・土曜、祝祭日、年末年始等の閉庁日を除く8時30分～17時00分

② 業務内容

- ・電話やメールによる利用者（教職員、教育機関）からの問い合わせに対応する。構築範囲外の問い合わせについてもワンストップで対応できることが望ましい。
- ・問い合わせの種類
 - ・教育ネットひむかへの接続に係るパソコンの通信設定に関すること。
 - ・教育ネットひむかで提供する各種コンテンツの操作方法に関すること。
 - ・インターネット接続（遅い、繋がらない等）に関すること。
 - ・各種パスワードの初期化に関すること。
 - ・ユーザーアカウントのロック、及びロック解除に関すること。
 - ・ウイルスやセキュリティに関すること。

VI その他の要件

1 プロジェクト管理

- ・受託事業者は、本書に基づき、本システムの構築における具体的な体制、スケジュール、プロジェクト管理方針、プロジェクト管理方法等を含んだプロジェクト計画書を作成し、本県の承認を得ること。
- ・本業務と同規模以上のプロジェクトでプロジェクトマネージャの経験を有する管理者を選定すること。構築ならびに運用保守業務の期間中に管理者を変更する場合は本県の上承を得ること。

2 移行要件全般

- ・納入期限（令和3年12月27日）までに、システムの構築および既存システムからのデータ移行を、受託事業者の責任において実施すること。
- ・システム及びデータの移行方策を決定し、具体的な移行手順を策定すること。なお、2週間以上の試行運用期間を設定すること。

- ・成果物として、システム移行手順書を作成すること。
- ・移行スケジュールについては、宮崎県情報政策課、統合基盤関係機関、各システムの保守企業、本調達の受託事業者で協議・調整の上、実施すること。
- ・教育ネットひむかで取り扱う情報資産の機密性・完全性・可用性を確保すること。

3 搬入・据付・配線・調整

- ① 機器の設置に関しては、採択後に、関係部署を交えた協議を実施し詳細は決定するものとする。
統合基盤（宮崎中央iDC）設置機器：情報政策課
教育研修センター設定機器：教育研修センター総務課
- ② 既存のVODサーバー機器の移行については、供給者が立ち会い、正しく搬入されていることの確認を行うこと。
- ③ ラックマウント機器は、上記で定める作業に追加して、19インチラックへの据付と配線を行うこと。

4 その他

- ・すべての機器及びシステムにおいて、IPv6への移行が可能であること。
- ・利用機関トラブル解決のためのトラブル対処サイトを作ること。
- ・その他、必要と思われる機能があれば提案に盛り込むこと。
- ・必要となるライセンスすべてを提供すること。
- ・ソフトウェアのユーザーライセンスについては、利用者増加となっても追加費用が発生しないことが望ましいため、その点を十分考慮して提案すること。
- ・移行後は最新のソフトウェア構成で運用を開始すること。また、既存ソフトウェアのバージョンが古くなった場合は、導入したソフトウェアと同一バージョン内でアップデートを実施すること。
- ・導入時スケジュールは、教育研修センターと協議すること。
- ・導入時に必要となる部材、ケーブル、消耗品に掛かる費用を含むこと。
- ・導入後、集合教育を実施すること。（内容と期間については別途協議）
- ・現在のサーバーの構築を行った業者への問い合わせが必要な場合は、教育研修センターに問い合わせること。
- ・QTrnetの「コンピューター通信網サービス」の回線費用については、調達範囲としない。
- ・次期更新時には、次期更新業者に、更新に必要なデータ及び情報の全てを引き渡すこと。また、速やかに各種データ等を受託事業者の責任で完全に消去し、必要に応じて証明書等を提出すること。

VII 提出物

1 提出項目

- (1) 企画提案書
(導入スケジュール、導入体制図、保守体制図 含む)
- (2) 見積書

2 納入後の提出物

受託事業者は以下の納品物を文書および電子媒体（CD-R等）で提出すること。なお、電子媒体で提出する形式は、原則としてマイクロソフト社製「Microsoft Office Word」、「Microsoft Office Excel」、「Microsoft Office Power Point」形式とし、事前に最新のウィルスパターンによる検疫を実施した上、提出すること。

- (1) 導入したハードウェア・ソフトウェア構成（シリアルNo等も含め明示すること。）
- (2) 設計情報、パラメーターシート
- (3) ネットワーク構成図、システム構成図、ラック構成図、IPアドレスなど
- (4) 操作マニュアル（管理者向け、利用者向け）
- (5) 保守業務の提供に必要なとなるドキュメントすべて
- (6) 障害対応に必要なとなるドキュメントすべて
- (7) ヘルプデスク業務の提供に必要なとなるドキュメントすべて
- (8) 情報化コーディネータ業務の提供に必要なとなるドキュメントすべて
- (8) 連絡体制図
- (9) 保守体制図
- (10) 運用体制図